

70

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ローター

第 564 号

1970.8.4 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

会報はご家族みんなで読みましょう

「隔りを取り除こう」

出席報告

本日の出席 会員数 64名
出席数 48名
出席率 75.00%

欠席者 阿宗君、平田(圭)君、平田(貢)君、飯白君、金井君、黒谷君、今間君、嶺岸君、三井(徹)君、岩網君、齋藤(信)君、佐藤(伊)君、富樫君、笹原君、篠原君、手塚林蔵君

前囁の出席 前回出席率 76.92%
修正出席数 57名
確定出席率 87.69%

マークアップ 阿宗君—新庄RC
岩網君、新穂君—温海RC
林君、伊藤君、金井君、鷺田君—鶴岡西RC

ビジター 栗田一男君—高島RC

ゲスト 三井安弥君

会員誕生 安藤定助君、早坂源四郎君
三井徹君、三井賢二君

奥棒誕生 三井章様、佐藤奈津子様
手塚峰子様

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

皆出席 7年間皆出席 五十嵐伊市郎君
6年間皆出席 林 茂助君

7月100%出席 40名

阿宗君、阿部(公)君、阿部(襄)君、安藤君、張君、長谷川(悦)君、早坂(源)君、林君、飯白君、石黒君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、五十嵐(八)君、伊藤(貞)君、海東君、加藤君、上林君、小花君、小池君、今間君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、小野寺君、大川君、廖君、齋藤(得)君、佐藤(忠)君、鈴木(善)、新穂君、鈴木(弥)君、篠原君、谷口君、高橋(無)君、高橋(正)君、手塚林治君、上野君、鷺田君

会長報告

今間さんのご好意により、当クラブ分と同型のスマイルボックスを、温海、余目、遊佐の各クラブ分をつくっていただき、お届け出来る段階になりました。

NHK局長高橋さんが、富山放送局長に栄転することになり2日赴任しました。近く家族とともに引越のため、こちらにこられるので、来週か来々週の例会で、ご挨拶したいとのことでした。

お手許に配られた鶴岡クラブの10周年誌が見事に出来上りました。嶺岸委員長はじめ関係者に厚く感謝します。

恰度三井安弥さんが、鶴岡にお出でになりましたので、この例会でスピーチをおねがいしました。

去年ロータリーの会合が飯坂と会津若松であったときに、一緒に旅行させていただき、そのときロータリーの話が出ました。三井さんは、自分はロータリーの共鳴者であると言われまして、ロータリークラブには共鳴者の団体はないかとたずねられました。無論ないのですが、一昨日お会したとき自分はロータリーのシンパと言われました。

三井さんは、鶴岡をこよなく愛しておられると思います。そういったこともあって鶴岡クラブのシンパといわれるのではないかと思います。また感銘深いお話をいただくことを期待しますので、ご静聴ねがいます。

日本ジャンボリーについて 安藤君

豫て、ボーイスカウトを激励しようということで、幟の準備をしておりましたが、このほど出来上りましたので、お目にかけます。

これは荘内藩の紋を入れたもので、酒井忠明さんが心をこめて書き上げたもので、これを染色し、装備したもので、背負い袋なども整っております。

今日3時14分鶴岡発の列車で、庄内から77名が2隊に編成されて、富士宮市の朝霧高原に向い出発します。2時半に駅頭で、激励壮行会をやり、そのとき当クラブから庄内地区委員長佐藤寅之助を通じ、2隊に贈呈いたします。時間の繰合せのつく方は、どうぞ駅頭で激励して上げていただくようおねがいます。

日本ジャンボリーは、4年毎に開かれます。第1回は31年に軽井沢で、第2回は34年に滋賀県の琵琶湖畔で、第3回は37年に静岡県御殿場で、第4回は41年に日本原で実施して参りました。今度は朝霧高原において行われることになったのであります。ここでは来年第13回の世界ジャンボリーが開かれるので今年度はリハーサルの形となりました。文部省が大へん力を入れて、諸施設の改善にとりこんでおります。

今回のジャンボリーは6日から開会し、10日の閉会式まで3万人のボーイスカウトが彼地に集います。そのうち500名～1,000名は外国からの参加であります。

キャンプサイドには、当市の兄弟都市の鹿児島市のボーイスカウトと隣接し、親交をたかめるよう本部に要望してきましたが、その要望が叶えられて、隣接が実現しましたので喜んでおります。

去年のジャンボリーを猪苗代でやったとき毎日雨にたたられて、一步も外に出ずにその

儘引返した例がありました。

今年の日本ジャンボリーも天候を案じております。

三井安弥氏の卓話

皆さんの中にはごらんになられた方もあると思いますが、荘内日報に雑文をのせました。大学は出たけれどという標題でありましたが、意を尽せないこともあったので、このことにふれてみたいと思います。

これには大事なことも含んでおりますので結論を申し上げますと、昔の大学も、今の大学も、学問の基礎知識だけを与えられるところで、人間形成には意味をなさないのことに申し上げたのであります。

大学ということにこだわって言えば、人間の一生の歩みが大学と思います。社会が大学で人生大学の学生であると言えますから、皆さんも私も、人生大学の学生な訳です。ただし一生かかっても卒業は出来ずまい。即ち卒業試験が大変難しいからであります。

ここにお集りの方々は、大学院程度の方だと思えます。そういう方々の為になる話など私には出来そうもありません。

皆さんのように、社会で活躍なさっている方々に対しては、下手なお話をきくより、食後15乃至30分休養することをお奨めいたします。従って、食後人の話をきかねばならぬ事などは衛生上よくない事と思いますが、会長さんの、折角の要望でしたし、またひさごの主人が、私と小学校の同級生で、仲がよいし、鶴岡の方々であるので、お会いしたい方もあって参りましたのでよろしくねがいます。さて、今日の話題には、多少の腹案もあったのですが、ここに参ってから君ヶ代の斉唱をきき、君ヶ代の作曲者を思い出したのでそれを申し上げることにいたします。

それは庄内にも関係あることであります。というのは、現在の酒田市伊藤助役が、私と中学校の同級生でありました。それが仲々変わった人物であって、どうして助役になったか不思議ですが、大分評判もよく結構と思えます。

伊藤君と一緒に中学に入ったときは校長が交替しました。森岡喜三郎さんで、あとで文部省督学官などになられた方の弟でした。

私が佐賀県の学務課長に行った頃、彼は佐賀高等学校の校長でした。その森岡先生がバリバリのときで、宮城県の大塚から代ってこれられました。非常に革新にもえた方で、今まであった鳥海月山雲に入りという校歌を、替えようという訳であります。現在もそうでしょうが、鵬嶺月峯雲に入りで萱間先生の作詞のものになりましたが、前の鳥海月山雲に入

というのは、酒田の女学校の校歌、その他いくつかの校歌とともにその曲をつくった先生が、酒田女学校の先生で赴任しました奥好義という方です。

先生は宮内省の雅楽の楽師の出ということでした。それが、汽車も通わぬ明治の昔、庄内くんだりまで来たのはどういう訳か、即ち当時の宮内省だから給与もよかったですのでわざわざ庄内に行くには理由があることと。そう言ったことを伊藤君が知りたいとのことでした。当時私は現職をやめて、鎌倉に引込んでからなので、知っていたことを紹介してやったのです。それで伊藤君が上京してきて調べたところ、奥先生は、私の生れた頃に楽部の楽師をやっております、ご承知の金剛石の歌曲をつくったのでした。それが君ヶ代もつくったのだとのことですが、当時は楽部の長の人名が功績になるようなもので、その人がつくったことになっております。しかし事実は奥先生がつくったことがわかったのであります。大した先生ですが、それがどうして庄内にきたのかを調べた訳です。それによると息は早逝していないが世襲として孫が楽師でおったので、その方に消息をきいたのです。さっぱりわからない。

恐らく、夫婦仲でも悪くなって家庭の事情で庄内まで来たように思われるのであります。

私は当時病気で弱っていたので伊藤君以上には調べられなかったのですが、今は元気になったので孫さんと会ったり雅楽の一番の年配者と会って、このへんの事情をたしかめたいと思います。

話題が代りますが、会長さんから紹介のあったロータリークラブについてですが、内容は忘れましたが、これを始めてきたのは、恐らく皆さんより私の方が早いと思います。

即ち大正11年に私が一高に入ったとき、そこにクレメントというアメリカの英語教師がおり、この人が、日本語を使わず、英語でペラペラ言うのでした。当時の英語教育は、耳にきく会話本意ではなく、そのため会話がさっぱりわからず、自分の成績もそのために落ちたように思います。その先生の云うことはわからないが、私は三井バンクと云われて金を集めるときに私がさせられたのであります。

さて英語の講義でテキストに使ったのが、ロータリークラブのテストでした。ところがロータリークラブが出来たのは1905年といわれ、私が入学したのは、その後18年でしたので、創立後18年目に私がロータリーを知ったのであります。会長さんにロータリーのことについて、いろいろ伺ってみると、ロータリ

ーに対し世間の誤解も可成残っていると思われるのであります。私も理解まで行っておりませんが、何か上流階級の有閑のクラブと漠然と思いましたが、級によってますますと仲々味のあるもので、今日の世上ではもっとも有意義なことと思います。

即ち国民生産が世界第三位とか云われてエコノミックアニマルなどと悪評されていますが、振替ってみると、人間回復など佐藤さんは言っているようですが、もっとも人間回復になっていない。

ますます人間性がなくなって、機械なの、煙なの、公害ばかりで、自然は破壊されればかしてあります。

しかし郷里の鶴岡はまだまだおそくはない。人間回復が出来ると固く信じております。

皆さんは、社会の中心大学院生なのですから、こう云った面でも活躍してもらわねばならぬのであります。自然が破壊され、人間性が失はれ、人間が皆ベルトコンベアで進むようでは困ります。人間性の回復をくれぐれもおねがいします。

夏になりましていつも思い出すのは、終戦記念日の思い出であります。恰度よい機会でありますので、前回までに言い尽せなかった点、また本当に言いたかった点を述べさせていただきます。

私が本当に言いたかったのは、人間回復のことです。歴史も今では唯物史観になり、英雄はいかん、個人の功績はたたえるなすべて組織で行くのだという解釈になったのですが何と云っても人間個人の力量なり人格が歴史を或程度左右するのでないかということは、否定出来ぬように思うのであります。

何も英雄崇拜ではありませんが、またこれからは合議性でなければ運営出来ないこともあると思います。

しかし人物なり人格なりの大小が、またえらいか否かが、組織の中に影響を与えるものと思います。

一例をとっても時代の趨勢とは云いながら西郷さんと勝さんという二人のえらい人物の出会いと相互の腹芸によって、徳川時代から明治維新へとスムーズなバトンタッチが出来たものと思います。それが我々のように理屈ばくで議論してみたって外交交渉などスムーズに進みようがないのであります。

終戦のときのことも前に申し上げたのですが、私は陛下と鈴木貫太郎と当時の阿南陸相の3人こそが、組戦のためにとっておかれた人物だと思います。若し鈴木貫太郎でなかったら、ああいう風にスムーズには行かなかったと思います。

8月14日の午前10時、最後の御前会議のときに集った構成員は、海軍大臣、陸軍大臣、陸軍参謀総長、海軍々令部長、外務大臣に、枢密院議長の6人と総理の鈴木貫太郎でした。

それでポッドダム宣言を受諾するか否かの意見が3人宛に別れて収拾おぼつかなくなったところ、鈴木貫太郎が断を下すべきであったのに、自分は何も言わずに陛下の御前に罷り出て、陛下に断を下させたというのは、たぐらみのようにも思われますが、これは陛下と鈴木貫太郎が個人的に親しい間柄ゆえに出来たのでそれが最善の途だったのです。

阿南陸相が陛下の侍従武官でいたときに鈴木貫太郎が侍従長であり、呼吸もそろっていたこともありましたが、阿南は日本の武士道の典型みたいに思われますが、私は鈴木貫太郎こそは終戦のために残された無二の人物と思ってるのであります。

小池君 ロータリーの友8月号に当クラブのバーナー掲載のため
藪田君 10周年記念誌に大きく写真掲載のため

幹事報告

(1) 例会変更

秋田県仁賀保RC 8/1より
羽後銀行仁賀保支店
東京江東RC 8/25より
錦糸町ロッテ会館
岐阜南RC、岐阜西RC、岐阜東RC
8月より 岐阜会館
金沢南RC 8月より(木)～(火)

(2) 会報到着

石巻東RC

(3) チャーターナイト案内

長崎東RC 10/17 於 玉屋デパート
登録料 ¥4,000

広島西RC 11/1 於 東洋工業体育館
登録料 ¥4,000

(4) 山形県北西区インターンテイ、ゼネラル フォーラム案内

9/13(日) 於 酒田市庄内経済連
AM10～PM5.30

(5) 353区インターアクトクラブ年次大会

8/22(土) 8/23(日) 郡山市

スマイル

佐藤(昇)君 医療法人三井産婦人科医院設計
のため

中山君 同上の電気工事施工のため

小花君 市議無競争率当選のため